

# CTG 建交労 かながわ

発行 建交労神奈川県本部機関紙部  
〒 231-0025  
横浜市中区松陰町2-7-17  
リバーハイツ石川町304  
☎ 045-662-2340  
FAX 045-641-5453  
Email ctg-kana@jasmine.ocn.ne.jp

群馬県安中市に於いて

## 建交労第19回定期大会開催

神奈川県本部斎藤代議員が

積極的に討論に参加

組織拡大分野で

神奈川県ダンブ支部が最優秀賞獲得



建交労第19回定期大会が9月2日(土)～4日に群馬県安中市において開催されました。

大会には全体で200名が参加、神奈川県本部からは伊藤東一特別代議員と斎藤代議員が参加しました。

足立浩副委員長の開会の挨拶で始まった大会は、角田執行委員長が主催者挨拶をしました。

### 建交労への期待が熱く語られる

来賓の皆さんからも安倍政権打倒と全労連・建交労をはじめとする労働組合運動に求められる役割と真価の発揮が強調されると同時に建交労への期待が熱く語られて、建交労の参加者全体を激励していただきました。

「戦争国家づくりの安倍改憲を必ず阻止しよう! 強大な建交労を実現し、全ての要求闘争を前進させよう!」のスローガンを掲げた運動方針案などを廣瀬肇書記長が提起し、会計決算報告と財政方針

を鈴木正明書記次長が提起をして討論に入りました。

神奈川県からは、斎藤代議員が討論に参加しました。また、組織拡大の分野では神奈川県ダンブ支部が前年比15パーセント以上の純増(22名)を達して最優秀賞を獲得しました。

討論をつうじて建交労の存在意義と果たすべき役割がより鮮明となった定期大会は、運動方針案などの議案を満場一致で採択し、相木伸之副委員長長の閉会挨拶につづく角田委員長の発声による団結ガンパロー三唱で成功裏に閉会しました。

### 神奈川県をはじめ

6都県から

12名が参加して

### 関東運輸局

### 要請行動

建交労関東トラック協議会は9月20日に恒例の関東運輸局要請を行い、神奈川県からは、関東支部の佐藤章委員長(関東トラック協議会事務局長)をはじめ大島信雄書記長、清野純平執行委員、赤羽数幸特別執行委員が参加。

要請団全体では東京、神奈川県、埼玉、千葉、群馬、栃木の6都県から12人が参加しました。

要請の内容は、自動車運転手の「改善基準告示」が抱える中島均議長が貨物課長に要請書手交(左端は佐藤委員長)する矛盾を解消するために拘束時間の短縮(原則1日11時間以内・最大13時間以内)に、1カ月248時間以内、休息期間の拡大(現行8時間を原則13時間以上に)、標準運賃設定などトラック産業の現状を打開するための喫緊の課題に絞って臨みました。

### 建交労神奈川県本部

#### 2017年度役員選挙告示

委員長1名	副委員長1名
書記長1名	書記次長1名
執行委員5名	会計監査2名

### 大会史上初めて

## 県知事と盛岡市長があいさつ

# 日本母親大会が開催

過疎の町が奇跡的に成長を遂げる

岩手県葛巻町くままきちょうが取り組むユニークなことは？



東北北海道のお母さんたちからのメッセージをバックに

題名「ユニークな町葛巻を50%まで引き上げたい」  
町の実践」

盛岡で開催された日本母親大会は大会史上初めて県知事と盛岡市長の挨拶があり画期的な大会でした。分科会は「地域づくり・学校づくり」に参加しました。世話人は、北緯40度、ミルクとワインとクリーンエネルギーの町、葛巻町鈴木町長です。人口6400人の町で、若い人や子育て世代に移住してもらえような支援策がたくさん打ち出されています。

「食糧エネルギー自給率 対象にバイオリン教室をは

じめたり、町公社で販売の葛巻ワインの利益から高校生ドイツ短期留学の費用にあてているなど、ユニークな取り組みをしている葛巻町にこれからのワインの購入を通してささやかな貢献をしていきたいです。

学童保育支部

峯松千津子

### 母親運動のはじまり

1954年3月1日アメリカがヒキコ環礁で水爆実験を行いました。平塚らいう他5名は全世界に向けて「原水爆禁止のための訴え」を送りました。

### ひとつにとけあつた

#### 涙の第1回大会

1955年、東京豊島区公会堂に全国から集まった母親、女性2000人余。会場隣の会館の保育所に子供を預けました。各地からの報告や発言、久保山愛吉(第5福電丸の船員)さんの未亡人、すずさんの訴えなどがありました。一同もらい泣きで会場は全員が一つに溶け合った大会でした。

日本母親大会

ホームページより

## 全国トラック部会第19回総会開催

9月4日、5日に群馬県安中市の磯部ガーデンで「改憲と戦争

者の要求実現に向け、強大な組織建設に奮闘しよう！」をスローガ

1日目は中央本部角田委員長から組織拡大のさまざまな取り組み方について話をされ、足立部会長からは、トラック産業の劣悪な現状について話があり、鈴木事務局長の17年度活動方針について提案されました。

藤委員長から県南支部の運動と今後の課題について発言し、清野執行委員からは職場の現状を報

告して討論に参加しました。

2日目にすべての議案を満場一致で採択し、足立部会長のガンパロー三唱で閉会しました。

年々参加人数が減少していきませんが、トラック産業の劣悪な労働環境は待ったなしの状態です。

全国からも毎回参加する人は同じ顔ぶれなので、県南支部や全国的にも多くのなかが参加し、トラック部会を盛り上げていくことが今後の課題と思われました。

## 神奈川労連

### 第33回

#### 定期大会に

#### 参加して

9月10日、神奈川労連第33回定期大会が建設プラザで開催されました。

当日は全体で111名の参加で、県南支部から斎藤副委員長と、三昭運輸分会から北側書記長が代議員として参加しました。

大会は福田議長からの挨拶に始まり、山田事務局長から

16年度報告と来季に向けての方針案などが提案されました。

### 不誠実団公は

許さない!

討論では各地域から参加されたほぼ全員から発言があり、県南支部からは三昭運輸分会北川書記長から「会社は団交を開催するにあたり、理不尽な理由で事実上の拒否をしたり、時間制限を強要したりしてきます。

昨年11月に団交のルール作りを目的にあっせん申請しましたが、組合側の提示した一般的なルール案に歩み寄りができないということで第3回目でも不調となりました。

今は組合事務所での退去を要請され、今まで争議に発展しないよう説得的対応に取り組んできましたが、県南支部対策会議で議論し県労委へ救済申し立てをすることで確認しました。」と職場の実態と今後の取り組みについて発言し討論に参加しました。

今回役員選挙はなく、議案は満場一致で採択されて大会はガンパロー三唱で閉会しました。

